

## スターのオーラ満載！

## タカラジェンヌOGプラネタリウムコンサート

タカラジェンヌOG美苑えりかさん、麻園みきさんの共演による「冬空に輝くスターイルミネーション」と題したプラネタリウムコンサートが1月31日に行われました。



チケットは販売当日に完売し、大盛況のなかコンサートの幕が上がりました。美しいプラネタリウムの映像の中、きらびやかな衣装を着たお二人の歌声は、スターのオーラを感じさせる素晴らしいステージでした。たくさんある宝塚の曲の中でも宇宙に関連した曲や、「宝塚といえばこれ！」という曲、またロマンティックなディズニーの曲など、バラエティに富んだラインナップで16曲も披露してくださいました。お客さまより「お二人のすてきな歌声にうっとりでした。」「美しい宇宙の映像とともに美しい歌声が重なり夢の世界に導かれました。」などの感想をいただきました。宝塚の魅力を身近に感じられた贅沢なコンサートでした。



未来までずっと子孫を残すために、進化してきた生きもの

## 「びっくり!ミジンコの生存戦略！」

1月10日に珍しい生物ネタのワークショップがありました。講師は岡崎市にある基礎生物学研究所の豊田賢治先生です。

テーマは「ミジンコ」。田んぼや池にいる水中微生物ですが普段見ているのはメスばかりということ知っていましたか？実は、生きていくために様々な工夫をしている賢い生き物なんです。

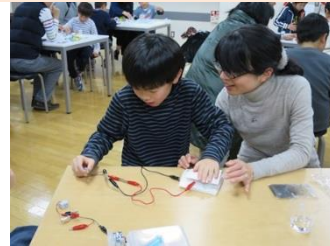
もともとミジンコはメスだけで産卵し、子孫を残すことができるのですが、環境が悪化すると、オスを産み交尾して耐久卵（環境がよくなると孵化する卵）を作ります。また、天敵（捕食者）がいると防御のために形を変化させるという興味深い話もありました。

講義のあとは、顕微鏡でミジンコのメスとオス、心臓や、卵（赤ちゃん）、眼（単眼と複眼）などをじっくりと観察しました。

今回は中高生が中心でした。みんな最後まで真剣に観察していました。「いろいろ見られて楽しかった」「お気に入りの生き物になった」「細かな器官があつてすごい」など、楽しく学んだという感想が多く寄せられました。



## エネルギー・放射線について考えてみよう



2月6日・7日と資源エネルギー庁主催のエネルギー・放射線の体験教室がありました。「エネルギーのフシギ」では、手回し発電機を使ってモーターを回してみました。逆に、モーターを回すと、手回し発電機が動きます。どちらも発電するものになるということを実験して学びました。また電気は動き・光・熱・音に変わることも実践し、活性炭を使って電池作りもしました。自分で作った電池で豆電球を光らせることができた瞬間にはみんなから歓声が上がりました。

一方「放射線のフシギ」では霧箱を作り、放射線が通った跡を観察しました。さらに計器を使い放射線の測定もしました。身近なものからにも放射線が出ていることに驚いた人が多かったです。先生からは、放射線と放射能の違いをわかりやすく説明していただき、放射線を正しく知ることが大事だと思いました。

参加者からは「実験が楽しくてわかりやすかった」「放射線が自分の身のまわりにあることがよくわかりました」などの声が聞かれました。

## ★天文トピックス

## 地球の兄弟星「木星」「火星」「土星」をめぐってみよう

日が暮れると、東の空からひときわ明るく輝く星「木星」が上がってきます。今年はいし座の後ろ足のあたりにあり、これから初夏に西へ傾くまでしばらく楽しめます。

望遠鏡で見ると、表面のしま模様や周りをまわる衛星も見ることができます。木星は太陽系最大の惑星で、地球の兄弟星。これからの時季は、そのほかの惑星も次々と見えてきますよ！

夜半を過ぎると、南東の空に「火星」「土星」が見えてきます。火星は今年5月31日に2年2か月ぶりに地球に最接近するため少しずつ明るさを増してきている赤い星です。そして火星の東側には、黄色っぽい「土星」が見えます。火星も土星も、これから夏にかけて観望の好期をむかえます。

金星は2月頃までは明け方に明るく見えていましたが、だんだん見かけが太陽に近づくため見えにくくなります。水星は、4月18日に東方最大離角（太陽の東側に一番離れたとき）となり、夕空の西の低い空ですが、見るようになります。

